

アンゴラ情勢報告（2013年4月）

【4月の政治動向】

<内政>

- ・ **アンゴラ総領事会合**：1日、シコティ外相はアンゴラ総領事会合において、在外アンゴラ総領事館の業務体制を批判し、総領事館のサービスに対する多くの苦情が接到しているとして業務改善を求めた。また、2日、マヌエル・アウグスト外務副大臣は、同会合において、情勢不安を抱える隣国等からアンゴラ国内への外国人流入を防ぐよう防衛・治安メカニズムを強化すべき旨主張。
- ・ **閣議**：3日、閣議は、昨年第4四半期執行決算（Balanco da Execucao Financeira）を承認。また、家庭内暴力関連法及び対策に関する執行計画を承認。
- ・ **大雨による死亡者**：6日の大雨によりルアンダ市内で9人が死亡。
- ・ **違法な鉱物資源生産活動への取り締まり**：ケイロス地質鉱山大臣は、国家復興局（Gabinete de Reconstrução Nacional）の名で違法に鉱物資源の生産活動を行う外国企業や外国人の存在に言及し、建設ラッシュによる資源需要への供給を確保しつつ、生産者の取り締まりを強化する政策を示した。
- ・ **石油生産**：
 - アンゴラの5月の石油輸出は、合計5674万バレル（日量183万バレル）に達し、その内半量を中国に輸出する見込み。これは2012年8月の輸出量と並ぶ最高記録。
 - レモス・ソナンゴル総裁は、次2年に、新たにクワンザ、コンゴ、ナミベ海盆の54の石油鉱区の入札を実施する旨発表。
- ・ **ダイヤモンド生産**：
 - アンゴラは、ボツワナ、コンゴ（民）に次ぐアフリカ第3のダイヤモンド産出国である旨、アフリカ・ダイヤモンド生産国協会が発表。
 - エンディアマ（ダイヤモンド公社）は、ルンダ・ノルテ州において、不法移民によるダイヤモンドの違法生産が行われていることに懸念を表明。
 - エンディアマ総裁は、2015年までにマランジェ州、ルンダ・ノルテ州、ルンダ・スル州において、新たに7つのダイヤモンド鉱区の開発を始める旨発表。
- ・ **CSR 会合**：CSRに関する第一回会合が開催された。KPMGの研究発表によると、アンゴラの石油、ガス、建設、銀行、運輸関連の主要企業は教育分野に高い関心を示しており、

予算の39%を同分野に計上，職員の研修や地域の子どもの教育への資金援助を実施している。

- ・ **公社決算報告**：合計90ある公社の内，40の公社が公的企業セクター院 (Instituto para o Sector Empresarial Publico (ISEP)) に2012年度決算報告を提出。

- ・ **インフラ関連**：
 - ルアンダ配電会社 (EDEL) によると，今年7月までに Chiang プロジェクトによる8つの配電所と126の変圧所の建設が完了し，Morro Bento, Benfica, Ramiro, Belas, Caop, Viana, Cazenga, Musseque Sequele, Cacuaco, Rocha Pinto, Samba, Maianga への電力供給が行われる。
 - 22日，シルヴァ都市計画・住宅大臣は，政府は14の住宅都市建設を計画しており，同計画は100万人の国民に資する旨述べた。
 - シルヴァ電力・水副大臣は，“すべての人に水を (Água para Todos)” プロジェクトに対し，国の補助金を供与する意向を示した。
 - ボルジェス電力・水大臣は，ベンゲラ州 Cubal の Lomaun ダムを訪れ，2015年までにベンゲラ州沿岸の市への電力供給を200MW 増大させるとした。

- ・ **市民の武装解除**：16日，タヴァレス内務大臣は，市民の武装解除キャンペーンに関する委員会を開催。同キャンペーンにおいて，2013年3月までに全国で不法所持されていた86,052の武器を回収。同大臣は，車両の盗難や強姦等の犯罪において，不法に所持されている銃器が使用されるケースが頻発しており，委員会として，市民に対し不法な銃器を警察に自発的に提出するよう促し，法令遵守を徹底させる必要がある旨述べた。

- ・ **輸入品の細菌汚染**：税関の発表によると，今年1月から3月間に輸入された食品全体の20%を検査したところ，80以上の見本が消費に不適切な状態であることが判明。食品からは，サルモネラ，リステリア，ブドウ球菌，大腸菌といった細菌も検出された。

- ・ **内閣実体経済委員会**：23日，内閣実体経済委員会において，トマス運輸大臣は，新たに Bungo/Baia 間のルアンダ鉄道第2路線を建設する計画を発表。工事期間18ヶ月，費用60億クワンザ（約6000万ドル）の建設計画。

- ・ **識字率の向上**：26日，シマン教育大臣は，議会において，2017年までに識字率87%という政府目標を達成できる旨述べた。

- ・ **マラリア撲滅**：保健省は，マラリア撲滅キャンペーンを強化する目的で，今年，全国に780万の蚊帳を配布する。

<外交>

- ・ **米・アンゴラ関係**：
 - 米アンゴラ商工会議所は、4月29日～5月10日の日程で石油・ガス分野の企業ミッションのアメリカ訪問を調整。ミッション代表はヴァスコンセロス石油大臣。
 - 5月5～8日にシコティ外相が米国を訪問予定。
 - 29日、Exxon Mobil 基金は、マラリア対策のために保健省に対し180万ドルを供与。

- ・ **独・アフリカ・エネルギーフォーラム**：6～10日、ヴァスコンセロス石油大臣は、第7回独・アフリカ・エネルギーフォーラムに出席。

- ・ **伯・アンゴラ関係**：
 - ヴァン・ドゥーネン国防大臣は、8日よりブラジルで開催された国防に関する国際フェアに出席。
 - 10日、ケイロス地質鉱山大臣はブラジルを訪問し、ブラジル鉱業・エネルギー大臣と会談。地質調査に係る意見交換が目的。

- ・ **伊・アンゴラ関係**：
 - 10日よりトリノにおいてデモクラシー・ビエンナーレが開催され、アンゴラからマヌエル・ヴィセンテ副大統領、シコティ外相等が出席。
 - マヌエル・ヴィセンテ副大統領は、イタリア工業連盟会長と会談し、年内にもアンゴラ・伊産業フォーラムを開催することを提案。
 - また、同副大統領は、伊外務副大臣他とも会談。

- ・ **サントメ・アンゴラ関係**：11日、ドス・サントス大統領は、コスタ・サントメ・プリンシペ大統領と会談し、既存の2国間協力協定を確認。サントメ・プリンシペ外務協力大臣は、記者団に対し、同国はアンゴラ人に対する査証免除を決定した旨述べた。また、13日、第8回アンゴラ・サントメ2国間協力委員会が開催された。

- ・ **カーボ・ヴェルデ・アンゴラ関係**：アンゴラとカーボ・ヴェルデは、査証簡易化協定に署名。同協定により、1年有効なマルチ査証（延長可）の発給が簡易化されることになる。

- ・ **ナイジェリア・アンゴラ関係**：17日、ドス・サントス大統領はオバサンジョ前ナイジェリア大統領と会談し、ギニア・ビサウ問題等のアフリカ情勢につき意見交換を行った。

- ・ **スペイン・アンゴラ関係**：
 - 25日より、スペインにてスペイン・アンゴラ経済フォーラムが開催。両国企業間の関係強化が目的。アンゴラからゴルジェル経済大臣、カンガ農業大臣、アブランテス ANIP 長官等が出席。ゴルジェル大臣は、スペイン政府はアンゴラの銀行がスペインに支店を開設し、また、スペイン証券取引に参加することに期待しているとした。カンガ大臣は、アンゴラ農業開発において、技術と経験を有するスペイン企業が協力すること

を歓迎する旨述べた。

➤ フォーラム後に開催されたスペイン企業との会合において、リマ在スペイン・アンゴラ大使は、今年中にスペイン企業ミッションのアンゴラ訪問を実現させる旨述べた。また、スペイン投資家に対し、72時間で労働査証を発給する旨発言。

・ **ノルウェー・アンゴラ関係**：26日、ノルウェーは、UNDP との協力のもと、「市民団体を通じた女性促進」プロジェクトに35万ドルの資金援助を行った。

・ **英国・アンゴラ関係**：28日、ロンドン市長が英国企業ミッションとともにアンゴラを訪問。英国は、金融、インフラ分野においてアンゴラとの協力関係を強化する意向。

・ **ナミビア・アンゴラ関係**：ナミビアとアンゴラの国防大臣率いるミッションが会合を行い、国境付近の人の自由な移動を容易にすべく協力していく旨話あった。

・ **EU・アンゴラ関係**：16日、アンゴラ政府と EU は、地方の貧困削減を目的とした地方開発支援プログラムへの資金援助契約に調印。これによりヨーロッパ開発基金より3000万ユーロが供与される。

・ **CPLP 関係**：23～24日、モザンビークにて、CPLP 間の雇用、社会問題担当大臣会合が開催され、アンゴラからピトラ・ネト行政労働社会保障大臣が出席。

・ **国連関係**：ナバネセム・ピレイ国連人権高等弁務官がアンゴラを訪問。弁務官は、アンゴラが和平達成後、人権分野での改善に尽力してきた旨確認するとともに、アンゴラの人権状況が国際基準となるよう支援していく意向を示した。

・ **南部・東部アフリカ資金洗浄対策会合**：タンザニアにおいて南部・東部アフリカ資金洗浄対策グループの第25回会合が開催され、アンゴラからアブレウ中銀副総裁が出席。アンゴラは、資金洗浄とテロ資金対策に関する実施計画を提出。

・ **コンゴ（民）・大湖地域情勢**：22日、外務省は、コンゴ（民）、大湖地域、南部地域における紛争防止と解決へ向けたアンゴラの貢献に関する会合を開催。アンゴラ和平化の経験を大湖地域やコンゴ（民）における紛争解決に活用すべく協力していく意向を示した。

・ **都市インフラ首脳会合**：南アにてアフリカにおける都市インフラ首脳会合が開催され、アンゴラからシルヴァ都市計画・住宅大臣が出席。会合の-marginにおいて、国産の建築資材の利用増加、セメント使用率をさげる必要性を主張。また、アンゴラの建設市場に介入する外国投資家は、投資方法や都市住宅建設の現状を理解する必要がある旨述べた。

【基本事項】

<一般情報>

- ・ 国名はンドンゴ王国の王号ンゴラに由来。人口1961万8432人¹（2011年世銀推計）
- ・ 旧ポルトガル植民地であり、1975年に独立。独立後、1975年から2002年まで長年に亘る内戦を経験し、2002年に和平を達成。

<政治体制・内政>

- ・ 大統領を元首とする共和制国家。
- ・ 2002年の内戦終結以降、民主化を進めており、国内政治的には非常に安定。
- ・ 2008年9月に内戦終了後、16年ぶり2度目の国会議員選挙が実施され、与党アンゴラ解放人民運動党（MPLA）が81.3%の得票で圧勝。
- ・ ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントス大統領は、初代大統領アゴスティーニョ・ネットの死去を受け、1979年9月20日就任。
- ・ 2010年に新憲法が施行。首相職が廃止され、副大統領を設置。大統領と国会議員の選出を同一の選挙で実施する「議院大統領制」が採用された。大統領の任期は5年²、2期まで。議会は1院制（議席数220、任期5年）。
- ・ 2012年8月31日、新憲法の下で初、史上2度目の大統領選挙、史上3度目の国会議員選挙となる総選挙が実施され、ドス・サントス大統領が再任された。

（了）

¹ 2014年に国勢調査の実施を予定。